

# 玄関収納

インテリア建材

# 〈ベースキャビネット〉

施工要領書

このたびは、弊社の商品をご採用いただきましてありがとうございます。  
商品の組み立ておよび取り付けには、この要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

## ①組み立て・取り付け上の注意事項

ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。  
施工にあたっては必ずお守りください。

- 玄関収納以外への転用および改造は行なわないでください。
- 指定の部品およびオプション品以外のものは使用しないでください。
- ねじ止め・釘打ちおよび接着剤塗布箇所は指定してあるねじ・釘および接着剤にて全て確実に止めてください。
- ※同梱の接着剤以外は使用しないでください。
- ※組み立て用接着剤は、完全に固まるのに約24時間必要です。
- 取り付け施工は24時間以上経ってから行なってください。
- 組み立て、取り付け完了後、正しく作業が行なわれたこと、および使用上の不具合がないことを確認してください。
- 引き渡し前に清掃を行ない、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。

## ②梱包内容の確認

- 開梱時に種類と数量を確認してください。(部品袋の内容にもご注意ください)
- 商品に破損や異常がないか確認してください。
- 万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合は、販売店または弊社までご連絡ください。

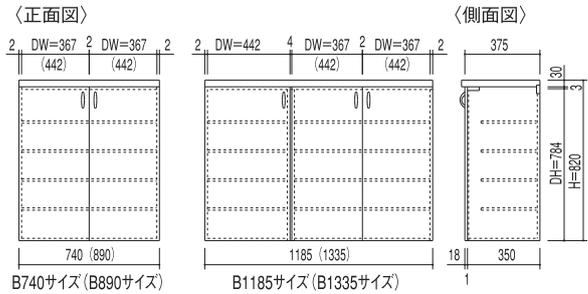
### ■部材部品一覧表

名称	数量			
	B740 (B890)	B1185 (B1335)		
キャビネット梱包	底板	1	1	
	側板	2	2	
	後板	1	1	
	仕切り板	—	1	
	補強棧	1	1	
	カウンター	1	1	
	棚板	W413	—	4 (4)
		W708	4	4
		W858	(4)	(4)
	接着剤	1	1	
部品	棚ダボ	16	32	
	丁番ベース	4	6	
	スライドヒンジ(扉用)	4	6	
	穴隠しシール	—	6	
	ストッパー(取り付けねじ付)	1	1	
	後板止め(取り付けねじ付)	6	6	
	キャビネット連結ねじφ3.8×28	4	4	
	躯体取り付けねじφ3.8×51	3	3	
	台輪固定ねじφ3.8×28	4	6	
	丁番取り付けねじφ3.5×16	12	18	
扉梱包	仕切り板固定ねじφ3.8×28	—	3	
	補強棧固定ねじφ3.8×28	2 (3)	3 (3)	

名称	数量			
	B445	B740	B890	
扉梱包	扉(左右兼用)	1	2	2
	引手	1	2	2
	ファニチャー	2	2	2
	穴隠しシール	2	4	4
	引手取り付けねじφ4×23	2	4	4

名称	数量			
	B1630	B1780		
カウンター梱包	部材	カウンター	1	1

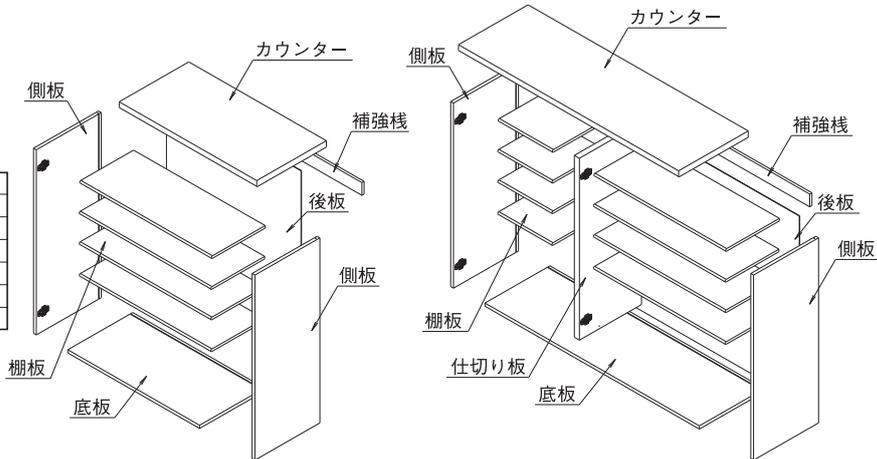
### ■規格寸法図



### ■各部の名称

●B740サイズ (B890サイズ)

●B1185サイズ (B1335サイズ)



### ③ 躯体の確認

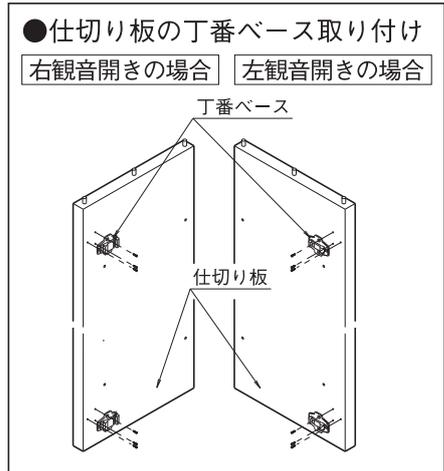
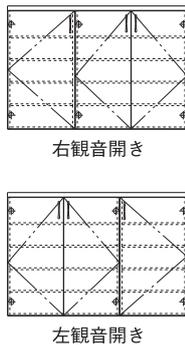
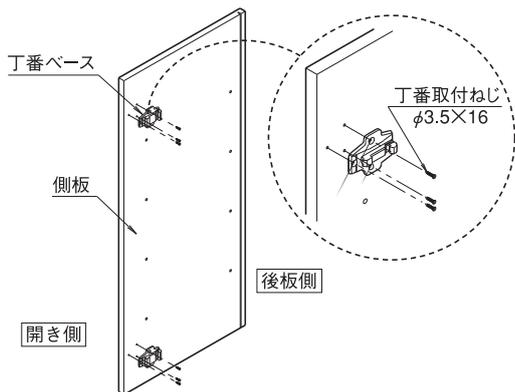
- 取り付ける床面の水平、壁面の垂直、直角、また凸凹がないかを確認してください。  
(不都合があれば当て木などして調整してください。)
- 所定の壁内(躯体)に厚さ24mm×幅60mm以上の胴縁(硬木)が設置されているか確認してください。  
(壁下地が18mm以上の合板を使用の場合、胴縁は不要です。)

### ④ 組み立て手順

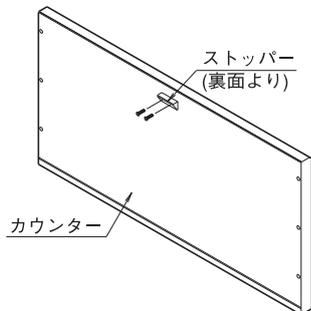
#### 1 キャビネット部品の取り付け

① 側板・仕切り板の下穴に合わせて丁番ベースを取り付けてください。

- ※ B1185、B1335の仕切り板の位置は現地で選択できます。
- ※ 丁番ベース取り付けの際には、丁番ベースの向きに注意してください。



② カウンターの下穴に合せてストッパーを取り付けてください。



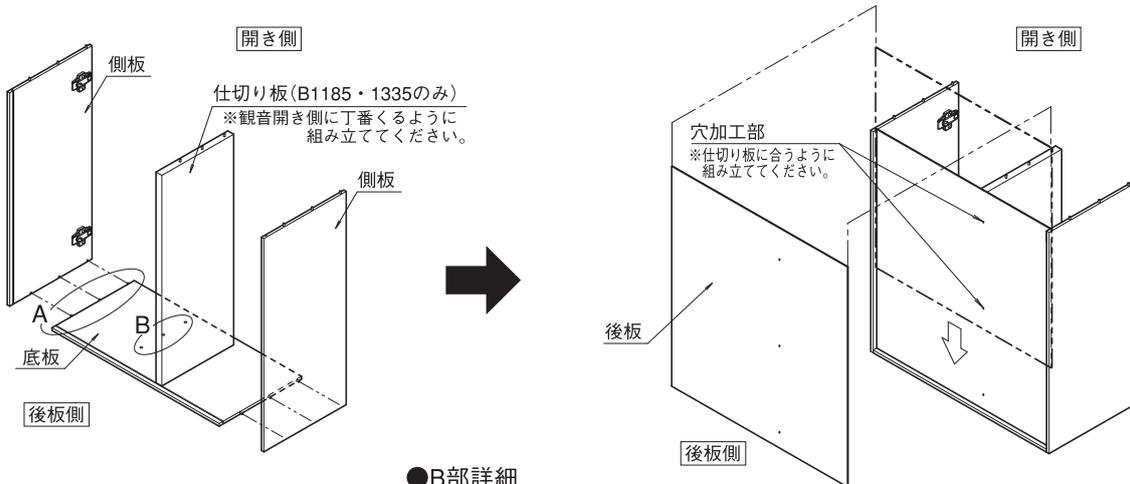
※ B1185・B1335タイプは観音開き側にストッパーを取り付けてください。

## 2 キャビネットの組み立て

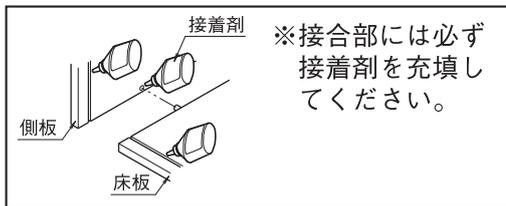
- ①側板・仕切り板(観音開き側に丁番を向ける)・底板を組み立ててください。(仕切り板はB1185・B1335タイプのみ)
- ②後板を溝へ入れてください。

※部材接合部および、組み立てダボと嵌合する穴には、必ず接着剤を塗布してください。

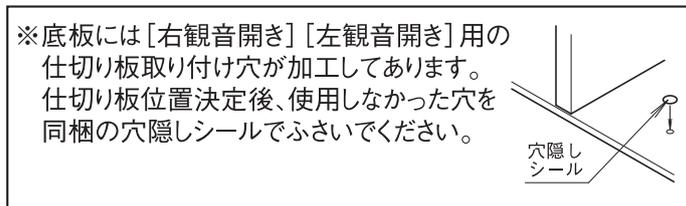
※仕切り板がある場合は、後板の組み付け向きに注意してください。後板にある穴加工部を仕切り板に合わせます。



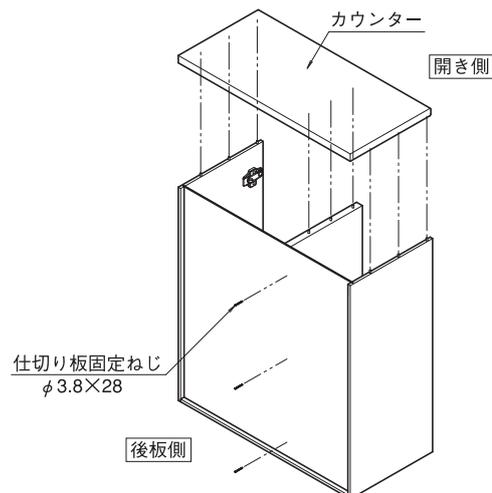
### ●A部詳細



### ●B部詳細

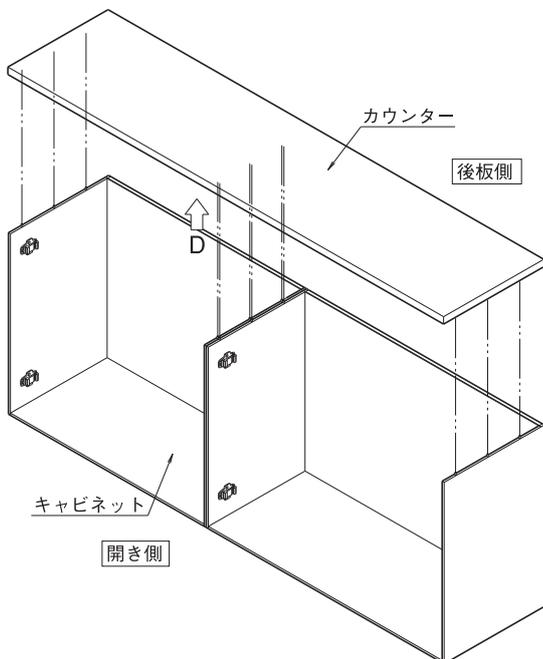


- ③カウンターをはめ込んでください。
- ④キャビネットの垂直を確認した後、後側から後板・仕切り板をねじ止めしてください。

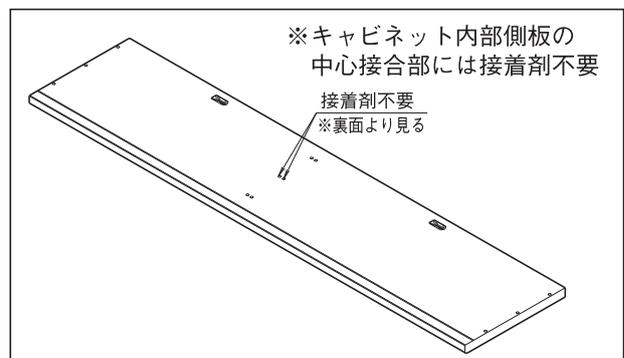


### B1630・B1780の場合

- キャビネット組み立て後(組み立て順序にて)、カウンターをはめ込んでください。

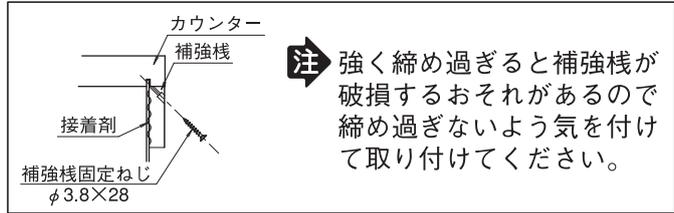
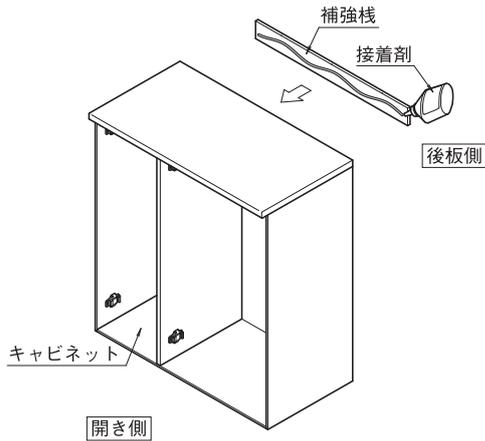


### D矢視詳細図

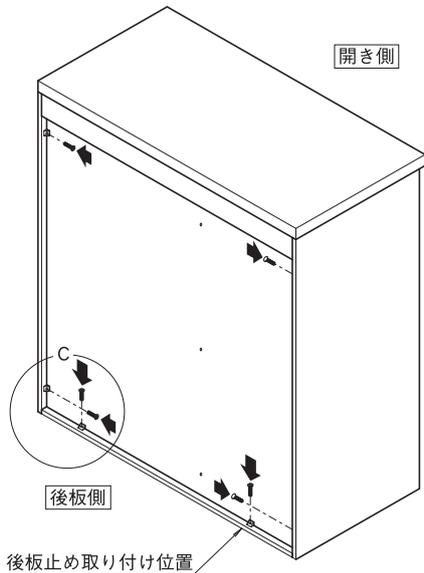


⑤補強棧を取り付けてください。

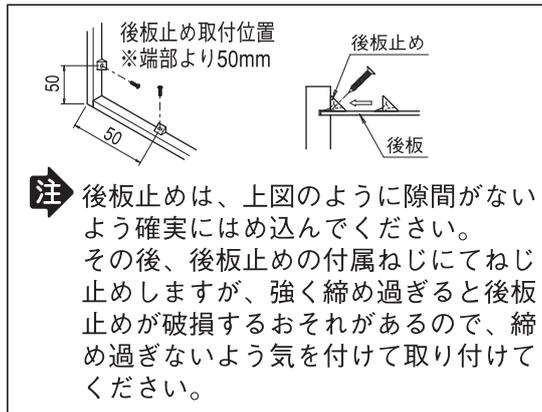
※補強棧は接着剤を塗布し、ねじ止めしてください。この際、ねじ頭が補強棧の表面より出していない事を確認してください。



⑥後板止めを取り付けてください。



●C部詳細

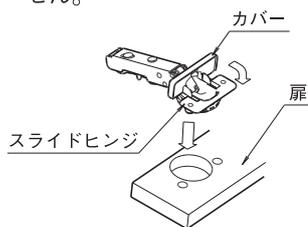


3 扉の部品の取り付け

①スライドヒンジを取り付けてください。

※扉とスライドヒンジにすき間がないことを確認し、カバーを強く押し込んでください。

※丁番の取り付けにはねじを必要としません。

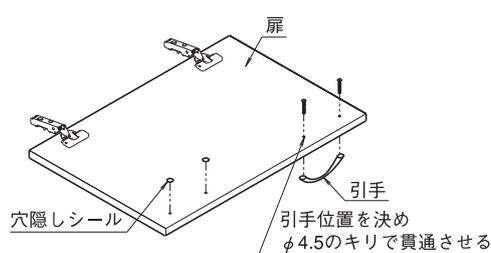


②引手を取り付けてください。

※扉は左右兼用です。

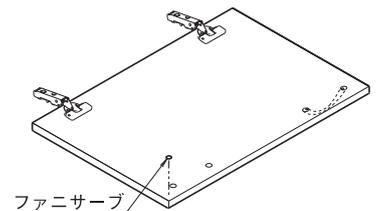
吊元を決め、引手取り付け穴をφ4.5のキリで貫通させて引手を取り付けてください。

使用しない穴は穴隠しシールを貼り付けてください。



③ファニサーブを扉下側に貼り付けてください。

※B445のみ上下に貼り付けてください。



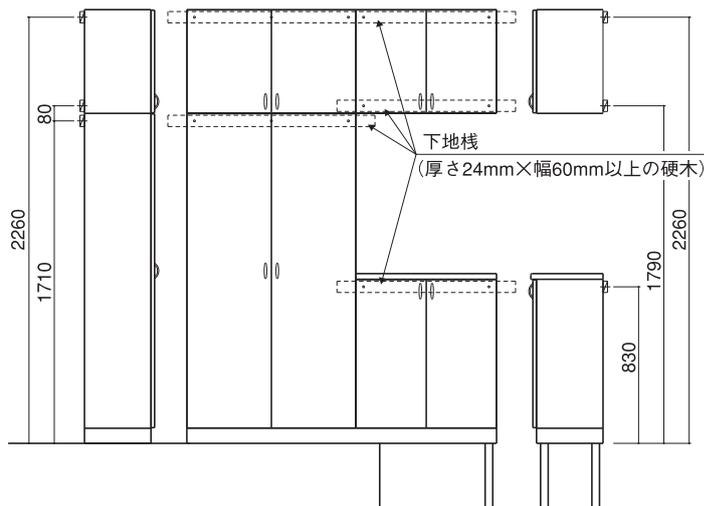
**注** キリで穴明けの際、表面の貫通穴部に当て木をしてください。貫通時に表面材が割れるおそれがあります。

## ⑤取り付け手順

### 1 下地木の設置

#### 【下地木の配置】

- 据え付け場所と上がり框の位置および、左右勝手を確認し、躯体に下地木を設定してください。  
※下地木は、厚さ24mm×幅60mm以上の硬木を使用してください。



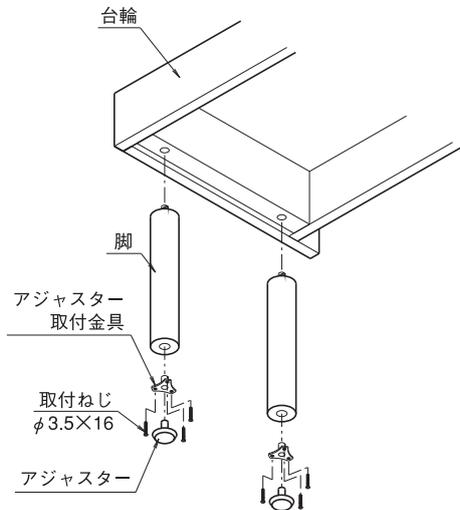
### 2 台輪の設置

※施工の時に台輪から補強板をはずしてください。

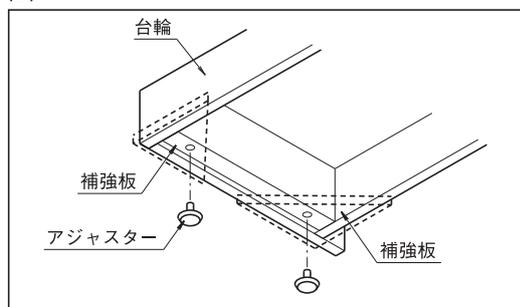
- 据え付け場所に台輪を設定してください。  
※台輪を土間に直置きする場合は、図Aのようにアジャスターを取り付けて設置してください。

#### 【脚の取り付け】(オプション品)

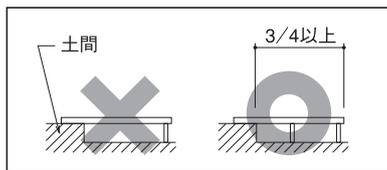
- ①脚を台輪裏面の埋め込みナットに取り付けてください。
- ②アジャスターを取り付けてください。



図A



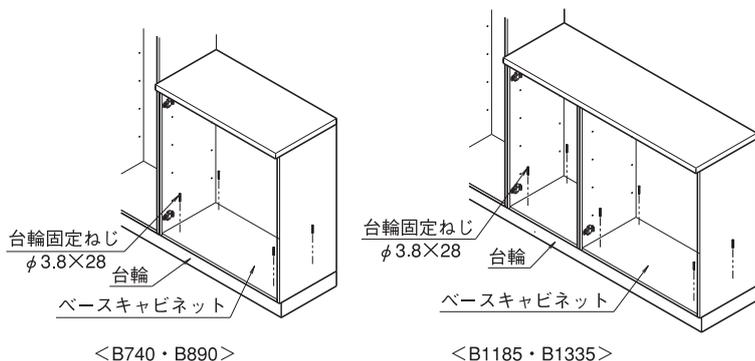
※1335以上の台輪を使用し、台輪が土間に3/4以上かかる場合は、脚セット(オプション品)を使用し、脚を4本設置してください。



※土間からの寸法に合わせて、脚の下端を切断してください。(切断可能寸法は最大80mmです。)  
切断後、脚の下面にアジャスター取り付け用の下穴(φ3)をあけてください。  
下穴をあけないと脚が割れるおそれがあります。  
※アジャスターの調整範囲は12~20mmです。

### 3 台輪への固定

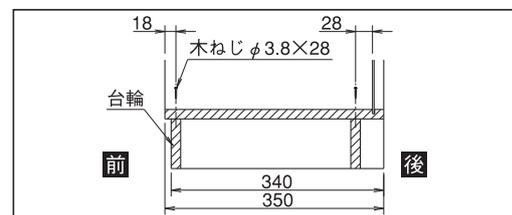
- キャビネットの内側から台輪に固定ねじ(φ3.8×28)で連結してください。  
※背面を合わせ、左右のチリを均等にしてください。



<B740・B890>

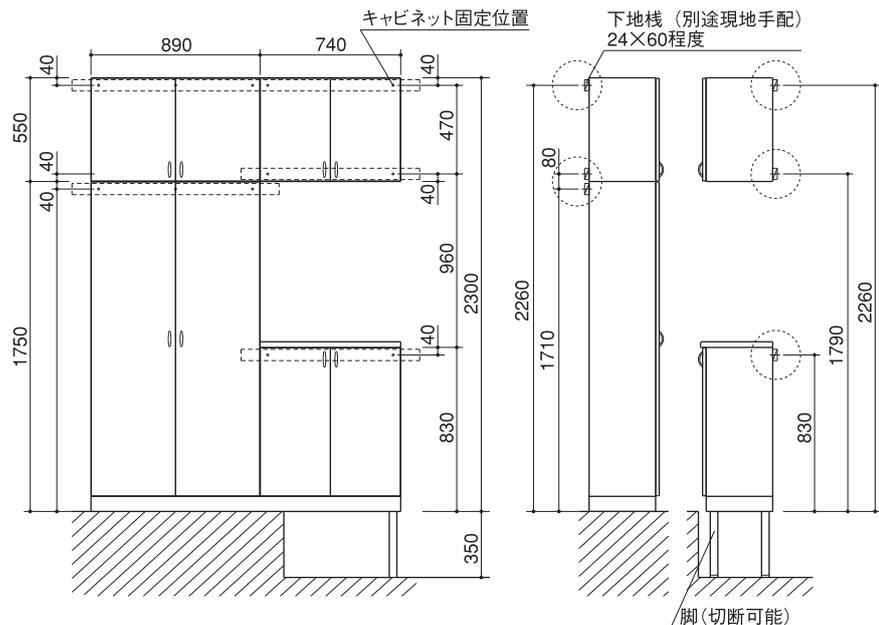
<B1185・B1335>

※台輪へ固定するときは、キャビネットへφ4の下穴をあけ、ねじ止めしてください。



#### 4 躯体への固定

- 水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら躯体取り付けねじ(φ3.8×51)でキャビネット内部より躯体に固定してください。



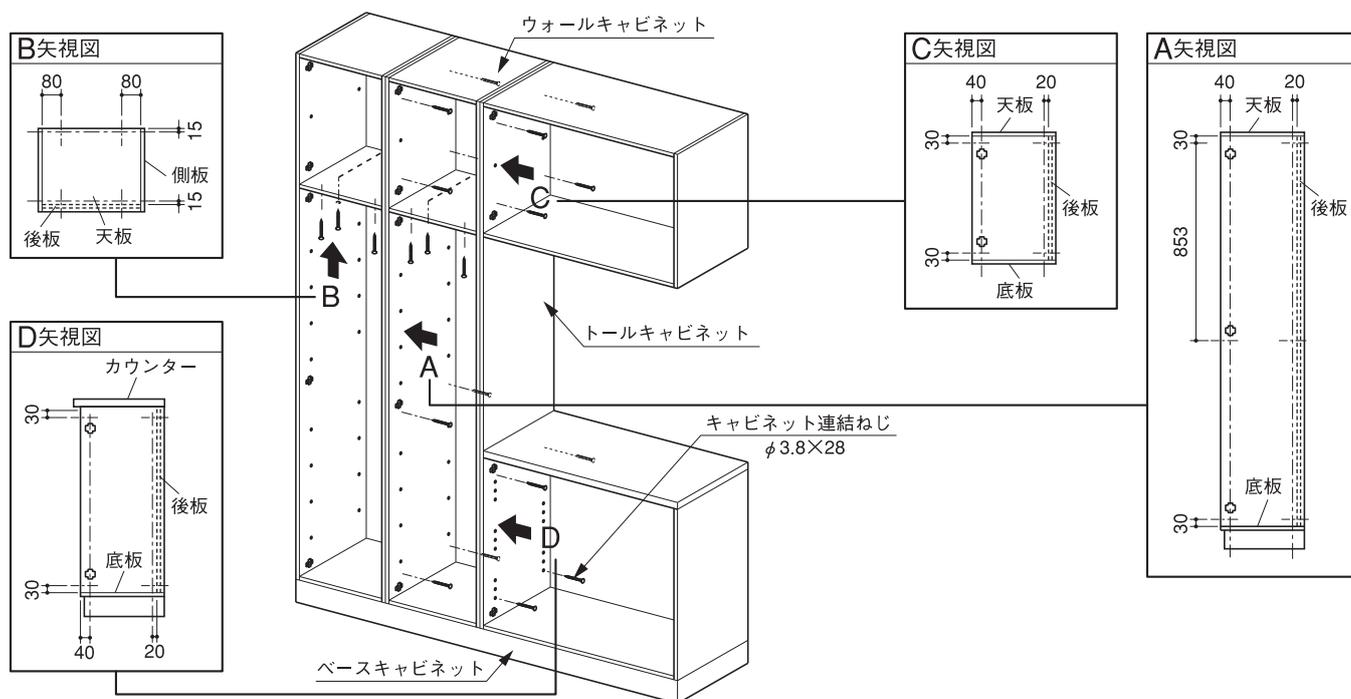
**注** キャビネット固定位置に下地棧があることを確認してください。又、キャビネットは必ずキャビネット固定位置にて固定してください。キャビネット固定位置に固定しないと、ねじが抜けて、キャビネットが転倒するおそれがあります。

※躯体にキャビネットを固定するとき、キャビネットの後板にφ4の下穴をあけて固定してください。

#### 5 キャビネットの連結

- 各キャビネットの前面を揃え、同梱のキャビネット連結ねじ(φ3.8×28)で組み立ててください。

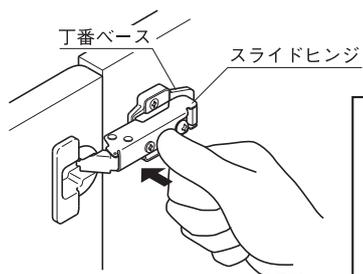
※キャビネットを連結するときは、ねじを打ち込む側のキャビネットにφ4の下穴をあけてください。



## 6 扉の取り付け

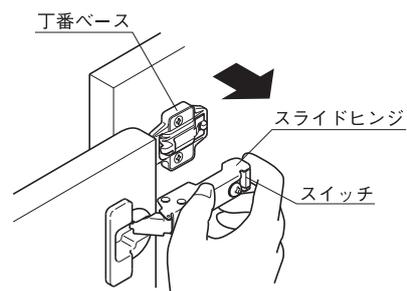
### 【扉の吊り込み】

- 扉のスライドヒンジをキャビネットの丁番ベースに合わせ、上から押し込んでセットしてください。



**注** 扉を本体に取り付ける際は、丁番本体が『カチャッ』と音がするまではめ込んでください。扉の取り付けが不完全だと、脱落の原因となります。

- 扉を取りはずす場合は、スライドヒンジ先端のスイッチ (黒色) を押してはずしてください。

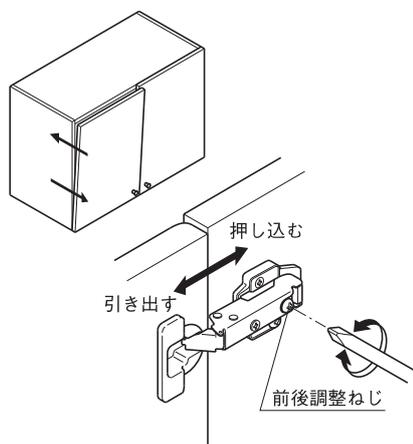


## ⑥調整方法

### 【扉の調整】

#### 前後調整

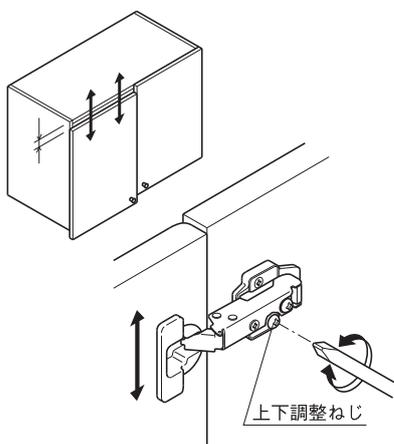
調整範囲：3mm (前方2mm、後方1mm)



- 前後調整ねじを回して調整してください。

#### 上下調整

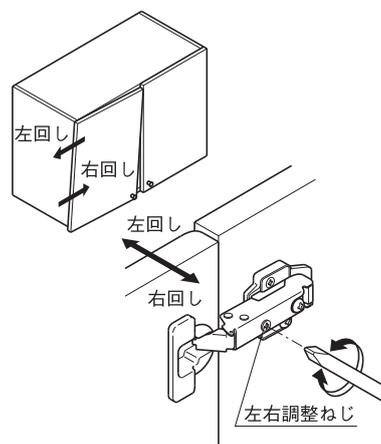
調整範囲：±1.5mm



- 上下調整ねじを回して調整してください。

#### 左右調整

調整範囲：±2mm

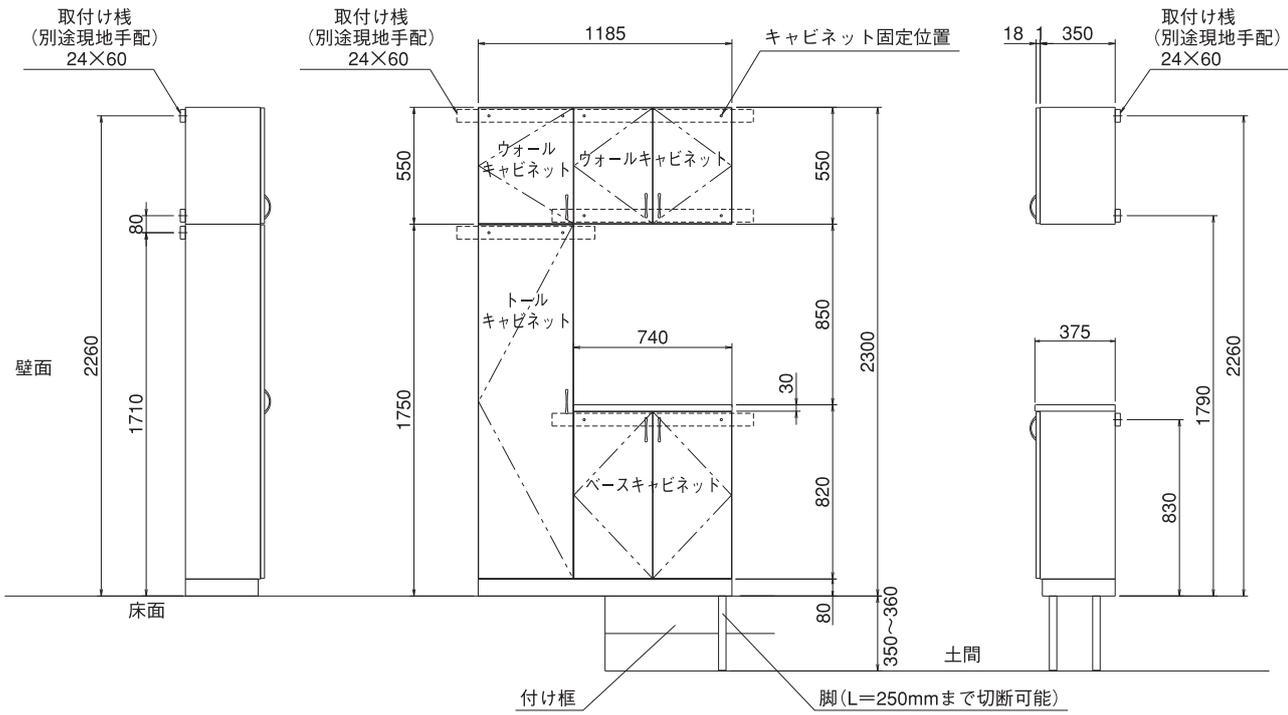


- 左右調整ねじを回して調整してください。

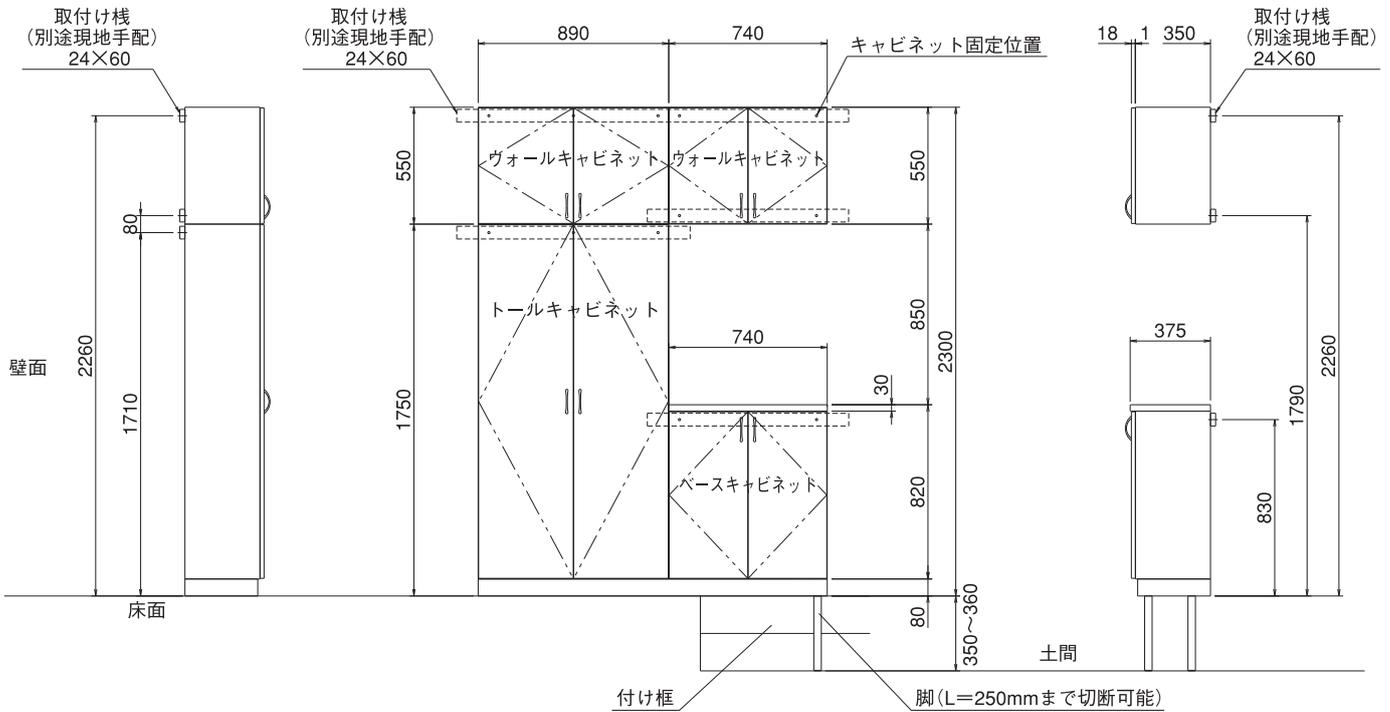
⑦納まり参考図 縮尺 S=1/30

■W=1,185(4.5尺入隅)の場合

※倒れの原因となりますのでキャビネットは躯体取り付けねじ(φ3.8×51)にてしっかり固定してください。



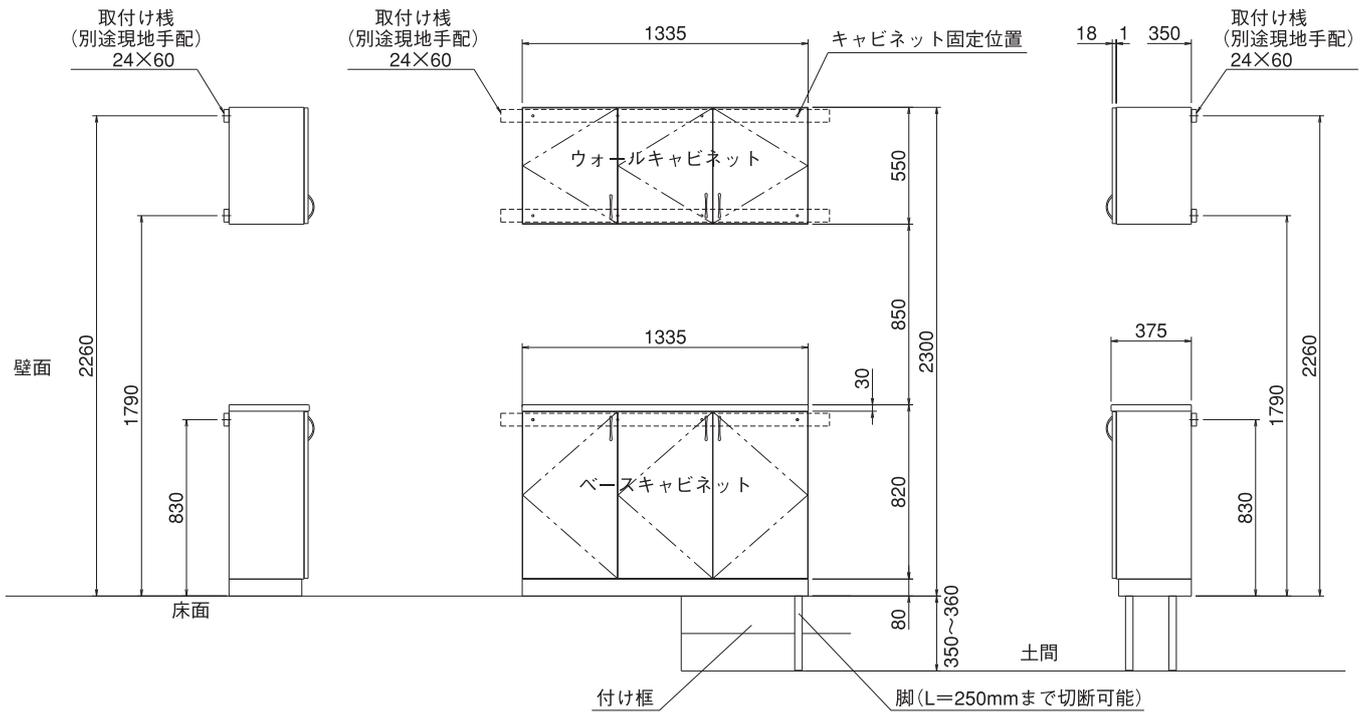
■W=1,630(6.0尺入隅)の場合



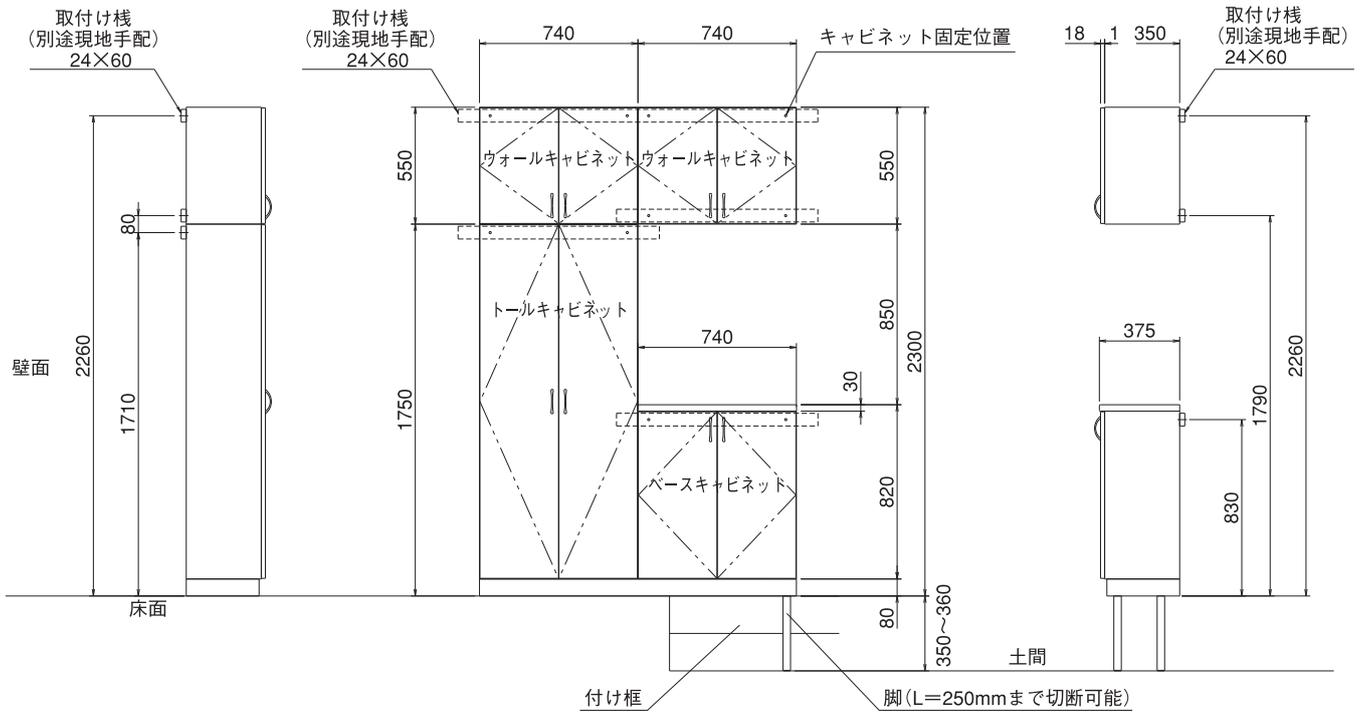
# ⑦納まり参考図 縮尺 S=1/30

## ■W=1,335(4.5尺平入り)の場合

※倒れの原因となりますのでキャビネットは躯体取り付けねじ(φ3.8×51)にてしっかり固定してください。



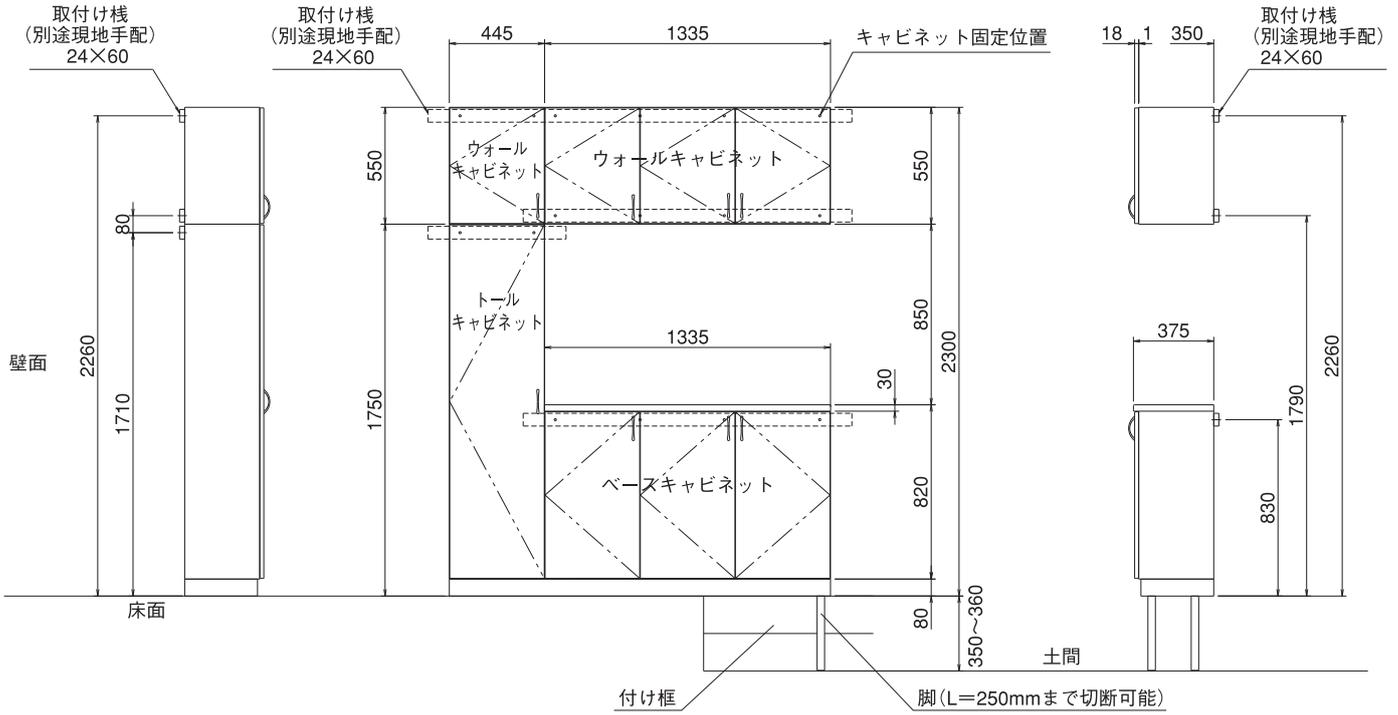
## ■W=1,480(5.0尺平入り)の場合



⑦納まり参考図 縮尺 S=1/30

■W=1,780(6.0尺平入り)の場合

※倒れの原因となりますのでキャビネットは躯体取り付けねじ(φ3.8×51)にてしっかり固定してください。



■W=2,225(7.5尺平入り)の場合

